

北海道はジオパークが数々ある

- ※富良野・美瑛観光はジオパークガイドを受けると感激が違う
- ※洞爺湖・有珠山はジオパークで出来たカルデラ湖として感じる

「ジオパーク」とは大地の公園の意味

活火山の迫力！災害の様子や噴火が生み出した大パノラマを間近で



約11万年前の巨大な噴火によってできたカルデラ湖・洞爺湖。約2万年前に誕生した活火山・有珠山。これらを中心とした雄大な景色が見どころです。

地域独自の資格「火山マイスター」による減災教育ガイドツアーが人気のほか、教育旅行におススメの「野外学習テキスト」が無料でダウンロードできます。

ここがイチオシ！

- ◆20～30年おきに噴火している有珠山と共生するための地域防災リーダー「火山マイスター」
- ◆学校の先生に朗報！旅行的行事で野外学習ができる「野外学習テキスト」

(<http://www.toya-toyu-geopark.org/>)

※洞爺湖有珠山ジオパーク、は有珠山・昭和新山・湖自体、湖の中の島など、活

火山を感じながら洞爺湖一帯を見て感じる

※富良野・美瑛の「波状丘陵地帯」は十勝岳ジオパークを知って、パッチワークの道や四季彩の丘を見ると感じるものが有意義になり、「北海道らしい景観」そのものがジオパークとなっている

北海道ガイドテキスト

Jエコツアー(株)

洞爺カルデラ:「洞爺湖有珠山ジオパーク」ユネスコにも登録された有数のジオパークで有珠山ロープウェイ利用

今から約 11 万年前、現在の洞爺湖があるこの場所で巨大な噴火が発生した。噴火に伴い発生した巨大火砕流は、周辺一帯を焼き尽くしつつ流れ広がり、周辺を埋め尽くして平坦な丘陵地帯をつくった。現在はこの地形が利用され、日当たりの良い広大な畑作地、牧草地が広がっている。この噴火で形成された直径 10 km 程のカルデラに水がたまり、現在の洞爺湖となった。この規模の噴火は、日本列島のような島弧系では最大級の噴火であり、日本列島では過去 12 万年間に 9 回しか発生していない。

中島



今から約 5 万年前、洞爺湖の中央部で火山活動が再開し、多数の溶岩ドームや火砕丘をつくった。湖底にあるものを含めて現在までに 11 個の火山体が確認されていることから何度も繰り返し噴火が発生したことがわかる。これらの溶岩ドームのうち、水面から顔を出した 4 島を総称して中島と呼んでいる。中島には遊覧船や散策路が整備されており火山活動の様子が分かるとともに、島の環境に適応して独自の生態をもつエゾシカが生息しており、運が良ければ散策路上で出会える事もある。



縄文の人々の暮らし

洞爺湖や有珠山の火山活動により育まれた森や海、湧水などの恵みを楽しみ、この地域には昔から人々が暮らしている。当ジオパークエリア内には日本有数の遺跡群が残されており、1 万年以上もの長期にわたり持続可能な社会を形成した日本特有の先史文化である縄文文化の暮らしをうかがい知ることができる。



アイヌの人々の暮らし

当ジオパークのエリア内には、北海道の先住民族であるアイヌの人々の生活の証も数多く残されている。砦や祭礼場と考えられる「チャシ」など、大地や自然とともに暮らしてきた彼らの思いを感じることができる。

洞爺湖有珠山ジオパークは、火山の噴火により数十年に一度の割合で目の前の景色を変え続け、世界でも類を見ない「変動する大地」を体感できる貴重な学びの場であり、また火山活動が形成した美しい景観を楽しむことができる場所です。1977-78 年山頂で大噴火が起こり、噴煙の高さは 12,000mにも達し、様々な被害を出した。山頂火口原が隆起し「有珠新山」を誕生させた。2000 年山麓・洞爺湖温泉のすぐ裏で噴火するが、噴火予測に従い、事前避難に成功し、死傷者は出ませんでした。

ジオパーク十勝岳望岳台（美瑛町：十勝岳ジオパーク）